

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スノーケリング実習 C	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	スポーツインストラクターコース	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	特になし				
担当教員情報					
担当教員	伊藤、浅野		実務経験の有無・職種	有・スポーツインストラクター	
学習目的					
スポーツ・健康業界について理解を深めるためスノーケリングインストラクターの資格を活用し、学内外で指導をおこなっていきます。 本実習ではスノーケリングインストラクター講習会で学んできたことを、スポーツ現場で実際に指導することでスポーツ業界にふさわしい人格を育むことにも重点を置いています。また在学中に仕事を体験する機会を得ることによって、いち早く職業意識の向上を促すことを目的とします。					
到達目標					
この実習ではスポーツや健康業界に関わる仕事を理解するよう学びます。 スポーツクラブは勿論、広い視点でスポーツの仕事との関わり方を意識し様々な状況に対応できる人材を目指します。また各企業等の業務内容について理解を深めることによって就職活動の促進へと繋げていくことも目標とします。					
教育方法等					
授業概要	・各企業等で求められる対応力を養います ・人との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学びます ・日単位での報告書を記載し、活動終了後に提出してもらいます				
注意点	・講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないで下さい ・身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけた場合は単位取得を認めません ・2年次にスノーケリングインストラクターの資格を取得した者に限ります				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	40%	報告書の内容を評価します		
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	60%	積極的な活動を評価します		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		実習の概要・行程を理解します		
2回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
3回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
4回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
5回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
6回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
7回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
8回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
9回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
10回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
11回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
12回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
13回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
14回	スノーケリング実習		指導技術を高めると共に、組織において協働する重要性を理解します		
15回	まとめ		今までの実施してきた内容を総括することができます		